

パブリックコメント意見募集の結果公表

帯広市環境モデル都市行動計画（2019年度～2023年度）（素案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、帯広市環境モデル都市行動計画（2019年度～2023年度）（素案）の修正は行わず素案どおりとして策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	帯広市環境モデル都市行動計画（2019年度～2023年度）（素案）		
募 集 期 間	平成30年11月21日（水）～平成30年12月21日（金）		
意見の件数 （意見提出者数）	7件（3人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
	参考	今後の参考とするもの	0件
	その他	意見として伺ったもの	6件
意見の受け取り	持参		0人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		3人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
炭酸ガス削減のため、明治オーバルでの製氷開始は外気最低気温が零下を記録した日を基準にすべきと思います。	1	【その他】 帯広の森屋内スピードスケート場については、利用者のニーズに合わせた利用期間を設定しておりますので、ご意見として伺わせていただきます。
新総合体育館など市関連施設トイレの新設又は改装にあたっては男子小用を電気センサーではなく、手動にすることが炭酸ガス削減を目指す市の姿勢としてあるべき姿と思います。	1	【その他】 公共施設においては、費用対効果などを総合的に判断しながら、省エネルギー設備の導入を進めることとしており、ご意見として伺わせていただきます。
小中学校における牛乳冷蔵庫の稼働は必要時（夏期でも暑い日）に最低限の稼働をすべきです。	1	【その他】 牛乳の保存については、定められた方法に基づいて管理する必要がありますので、ご意見として伺わせていただきます。

<p>学校給食の食器は石油由来の食器から木製食器への転換をはかることが必要と思います。</p>	<p>1</p>	<p>【その他】 食器については、児童生徒の安全性や扱いやすさ、衛生面を考慮し決定していることから、ご意見として伺わせていただきます。</p>
<p>各学校及び学童保育所などのトイレ、手洗い場で使用されている石油由来の合成洗剤は、自然環境への影響及び児童・教職員の健康への影響から即時撤去し、天然油脂から作られる無添加のせっけんに切り替えるべきだと思います。</p>	<p>1</p>	<p>【その他】 帯広市環境モデル都市行動計画（素案）は、地球温暖化を防止するため、二酸化炭素の排出量削減について、帯広市の具体的な取り組みをとりまとめているものであり、ご意見として伺わせていただきます。</p>
<p>「環境にやさしい公共交通の利用促進」について70歳以上に対する取組は書かれているが、その他の年齢層に対する記載がない。年代問わず、マイカーから公共交通への転換を図る必要があることから、ノーカーデーの強力な推進などの記述を追加すべき。</p>	<p>1</p>	<p>【既記載】 別項目（素案P.27 3-5 エコなくらし「3-5-①(1)-d」）で、年代を問わず地元バス会社や民間企業と連携しながら、ノーカーデー及びマイカー利用の自粛の取り組みを進めていくことを記載しています。</p>
<p>「環境モデル都市」の上位に位置づけられる「環境未来都市」「SDGs 未来都市」にみられる、環境・社会・経済の三側面における新たな価値創出を視野に入れた、取り組み内容の追加に期待します。 地域の強みである「農業・食」を活かして複数の課題を同時に解決しようとする「フードバレーとかち」の各種取り組みは、SDGsの複数の目標（ゴール）達成に貢献しうるものが既に含まれていることから、その貢献をアピールすることで、特段追加の取り組みを検討せずとも、「SDGs 未来都市」に選定される可能性は大いにあります。 地方創生に資するSDGs 関連予算の中には、「SDGs 未来都市」に何らかの配慮を行う予定の予算が多く含まれていることから、「SDGs 未来都市」を目指さないことによる機会損失が将来生じることを懸念します。</p>	<p>1</p>	<p>【その他】 本計画は温室効果ガス排出削減に向けた計画となっておりますが、SDGsの視点も踏まえ、環境モデル都市として地球温暖化の防止と活力あるまちづくりが両立した持続可能な低炭素社会の実現を目指した取り組みをすすめていきます。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり